

P55

3) 環境ラベル「SuMPO EPD」



一般社団法人サステナブル経営推進機構 (SuMPO) が運用しているのが「SuMPO EPD」です。「エコマーク」や「グリーン購入法適合品マーク」が、一定の環境基準を満たすことで、その製品やサービスに認定を与えるのに対して、「SuMPO EPD」は、LCA（ライフサイクルアセスメント）によって製品やサービスの環境負荷を定量的に可視化し、第三者検証のもとで情報を公開する制度です。ISO 等の国際規格に準拠した製品カテゴリーごとの共通 LCA 算定ルール（PCR：Product Category Rule）を用いて環境影響を算定することで、共通ルールによる比較可能性が高い環境情報を提供します。また、取得した EPD は全て第三者検証済みであるため、信頼性の高い判断材料として活用できます。さらに登録情報は常に公開され、誰でもアクセス可能な透明性の高い仕組みとなっています。

なお「SuMPO EPD」に名称変更される前は「エコリーフ」として運用されており、2002 年～2024 年まで運用されていました。